

COOL CHOICE COOLCHOICE(賢い選択)にご賛同ください!

COOLCHOICE とは、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」をしていこうという国民運動です。

ぜひ、この運動に参加いただける方は、センターのホームページから、COOLCHOICE にご賛同ください! (賛同者数：443 万人 ※2 月 13 日現在)

幼児環境教育DVD教材を制作しました!

幼児教育の指導者の方々に向けて、環境教育の具体的な実践方法を示したDVD教材を制作しました。是非、ご活用ください。



COOLCHOICE へのご賛同も、環境教育DVDのご視聴も、大阪府地球温暖化防止活動推進センターのホームページから!

上記で紹介した情報は大阪府地球温暖化防止活動推進センターのホームページに詳しく掲載しています。ほかにも環境学習の出前講座、教材の貸し出しについてなど、環境に関する情報が盛りだくさんです。ぜひ一度覗いてみてください!

<http://osaka-midori.jp/ondanka-c/>

大阪府温暖化センター 検索



2018年4月6日 大阪府民の森 イベント情報

イベント担当 / (一財)大阪府みどり公社 大澤 TEL.06-6266-1038 FAX.06-6266-8665 mail:ryokka@osaka-midori.jp

森のおもちゃづくり 【期間】5月5日(祝) 【時間】13:00~14:00 【場所】ちはや星と自然のミュージアム 【集合】ちはや星と自然のミュージアム 【料金】500円 【申込】大阪府民の森HPより申し込む。

金剛山山の春まつり 【期間】4月22日(日) 【時間】10:00~15:00 【場所】府民の森ちはや園地 【集合】府民の森ちはや園地ピクニック広場 【料金】無料 【申込】不要

キッズコーナー! 竹と遊ぼう 【期間】5月20日(日) 【時間】10:00~14:00 【場所】府民の森むろいけ園地森の宝島 【集合】府民の森むろいけ園地森の宝島 【料金】500円 【申込】大阪府民の森HPより申し込む。

ちはや園地ガイドウォーク 【期間】4月~6月の第1・第3日曜日 【時間】11:00~13:00の2回 【場所】府民の森ちはや園地 【集合】ちはや星と自然のミュージアム 【料金】100円 【申込】当日現地にて受付

クライミング体験講習会 【期間】5月13日(日)/6月17日(日) 【時間】5月13日 13:00~15:30 6月17日 午前部 9:30~12:00 午後部 13:00~15:30 【場所】府民の森ほした園地 【集合】ほした園地わんぼく広場 【料金】2500円 【申込】大阪府民の森HPより申し込む。 【定員】5月13日40名 6月17日午前、午後各30名

野鳥観察会 【期間】5月4日(祝) 【時間】9:30~12:00 【場所】府民の森ちはや園地 【集合】ちはや星と自然のミュージアム 【料金】500円 【申込】大阪府民の森HPより申し込む。

ファミリーキャンプとホテル観賞 【期間】6月23日(土)~24日(日) 1泊2日 【場所】府民の森くろんど園地 第2キャンプ場 【集合】府民の森くろんど園地 第2キャンプ場 【料金】大人1500円、子ども750円 【申込】大阪府民の森HPより申し込む。 【定員】10家族 ※常習用具、食糧は参加者自身で準備をお願いします。ファミリーでアウトドアを楽しみ、夜はホテルの観賞。人と自然、人と人が仲良くなるキャンプ。

えこっとSAKAにご意見をお寄せください。ご家庭や会社で取組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、どしどしお寄せください。ご意見はこちらから <https://goo.gl/aZVbQn>

「えこっとSAKA」を購読しませんか? 継続して購読されたい方は、1期(年3回発行)送付分の切手、82円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。

えこっとSAKAは、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です。本紙は1部あたり20.5gのCO2(ライフサイクル)を排出しますが、これを大阪府域において実施の省エネプロジェクトで創出されたクレジットでオフセットしています。



えこっとSAKA

「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこっと(少し)だけ、えーこと(良いこと・やさしい)、エコロジカルにしよう、大阪言葉を交えた意味を込めています。

編集・発行 / 大阪府地球温暖化防止活動推進センター 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社 TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 <http://osaka-midori.jp/> 編集協力・印刷 / 株式会社ウイルハーツ 〒532-0002 大阪市淀川区東三国4-3-1 グロリア240 2F TEL.06-6399-9500 FAX.06-6399-9550 <http://www.w-hearts.jp/>

2018 SPRING Vol.55



毎月16日は「ストップ地球温暖化デー」

気候変動の影響に「適応」しよう!

地球温暖化対策については、原因となる温室効果ガスの排出を削減する「緩和」とともに、将来さらに気温上昇が見込まれる中、地域に応じて現れる気候変動の影響に「適応」していくために、市町村や環境NPO、地球温暖化防止活動推進員など、地域で活動するさまざまな主体とともに「適応」の取組みを浸透させていく必要があります。

大阪府では、府域での「適応」の理解促進を目的として、「温暖化『適応』推進事業」を実施されています。

平成29年度は、キックオフイベントとして、大阪の気候がどうなるか、今後どのような影響が生じ、どう「適応」すればよいかについて、専門家やNPOのみなさんを交えて考える「おおさか気候変動『適応』シンポジウム」が開催されました。大阪における今後の温暖化の見通しや豪雨災害などから身を守るうえで、気象情

報を有効活用することが大切である点などが説明されました。パネルディスカッションでは、NPOのみなさんを交えて、府民、NPO、事業者などそれぞれが、地域での活動に「適応」の考え方を取り入れることが今後必要である点について、事例を含め報告がありました。

また、地域で活動するNPOの皆さんや地球温暖化防止活動推進員さんも協力して、大阪府内の地域特性を踏まえて、森林保全・防災・熱中症対策など様々な分野での「適応」をテーマに、各地域で啓発イベントが実施されました。(表参照)

平成30年度も引き続き、「適応」に関するイベントが各地域で実施される予定です。

地域によって生じる気候変動の影響は異なるため、適応する方法もさまざまです。住んでいる地域や環境にあわせて、かしこく適応しましょう。

各地域で行われた適応啓発イベント

テーマ	地域	内容
農作物 森林保全(土砂災害)	南河内	森林保全体験を通じて、気候変動によるゲリラ豪雨等の増加に備え、土砂災害を防止する森林保全の大切さについて学びました。また、温暖化による河内特産の農作物の品質、収量低下などの影響について学びました。
災害(浸水・水害)	泉州	気候変動により今後増加が懸念される浸水被害等の災害に対する備えとして、家庭備蓄の大切さや地域・近所同士のつながり、助け合いが大切であることを学びました。
生物多様性 森林保全	北摂	絶滅種の増加など、気候変動が生物多様性に与える影響について学びました。また、森林ウォーキングを通じて、みどり豊かな場所で、夏の暑さをしのぐ体験をしました。
府民生活 災害(浸水・水害)	中部	将来世代の子供たちが、衣類の調整で体感温度を調節し、冬の寒さ、夏の暑さをしのぐ工夫をすることなど、体験ゲームを通じて、暮らしの中での適応について学びました。

※あべのキューズモールのフールスポットにて、ヒートアイランド対策、熱中症対策イベントも実施されました。



温暖化の影響と里山の森を守る活動について学ぶセミナーの様子(南河内)



温暖化の影響と災害に備えるセミナー(泉州) <写真>防災グッズの展示



暑さ攻略大作戦!(あべのキューズモール) <写真>ミストでひんやり

詳しくは、大阪府HPでご確認ください

事業の詳細や、今後のイベント情報などご覧いただけます。



おおさか気候変動「適応」シンポジウム <写真> 専門家、NPOを交えたパネルディスカッション



知ってトクする！ 開催レポート 窓と省エネの深〜い関係

1月25日(木)、ハグミュージアムにおいて、「知ってトクする!窓と省エネの深〜い関係」と銘打ち、セミナーを開催しました。当日は、寒波の影響で、大阪でも最低気温がマイナスを記録するなど、とても寒いなか、90名を超える参加があり、冬の住まいを健康にエコに過ごす秘訣についての講演がありました。

寒い冬は、暖房利用などによって、どうしてもエネルギー消費量が増えてしまう季節です。省エネをすることは大切、光熱費も抑えたい、でも、住まいの寒さは我慢したくない、と感じておられる方は多いのではないのでしょうか。

セミナーでは、住宅の専門家のみならず、住まいの寒さを和らげる具体的な方法についてお話がありました。

■ 住まいの室温は健康に影響?!

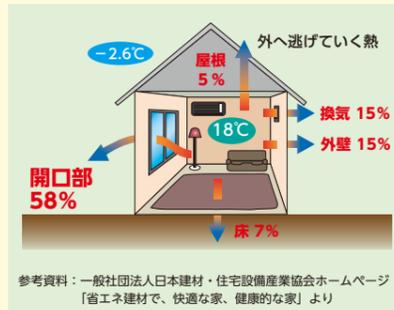
基調講演では、(株)住宅みちしるべの太田周彰さんから、「住まいの省エネと健康を考える」と題して、省エネの必要性とともに、住まいの室温が健康に影響することなどが、医学的視点に基づく調査結果とともに紹介されました。日本では、冬場に循環器系の疾患で亡くなる方が多い傾向があり、この原因が、じつは部屋の室温と関係しているのではないかと考えられているようです。

■ 意外と知らない?! 窓のリフォーム

YKKAP(株)の田崎淳也さんからは、「窓と健康の結びつき」と題して、住まいの寒さを和らげるうえで、窓がポイントであることが説明されました。住まいの熱が外に逃げていくのは、

その大半が窓からであること(図参照)、窓の断熱リフォームによって、熱の出入りを抑えられることが紹介されました。

複層ガラス、内窓、二重窓の設置など、リフォームも各家庭の状況にあわせて、さまざまな方法が選べることが紹介されました。



■ 手軽にできる! 住まいの寒さ対策

(株)ニトムズの宮崎康夫さんからは、「手軽・簡単にできる窓まわりの省エネ」と題して、住まいの寒さを和らげるための手軽なグッズが紹介されました。断熱シートも、最近では、悩みに応じてさまざまなタイプがあることや、より手軽にシートを貼れるようになったことなど、実演を交えて紹介されました。ほかにも、すきま風や結露に悩んだときに、活用できるグッズもあるようです。



■ トークセッション〜住まいの寒さを和らげるためにできること〜

トークセッションでは、DIY*実践者としてカリスマ的な人気を誇る、久米まりさんから、築40年以上の賃貸住宅をDIYによって少しずつ変身させた自身の実践事例なども踏まえて、住まいを大切に思う気持ち、住まいに手をかけることの楽しさを語っていただきました。

セッション後半では、久米さんから、「窓の断熱をする場合、素人でどこまでできるか? 例えば、内窓を自分でつくれるか?」という問いかけに、専門家のみならず、費用対効果の観点も踏まえて、窓ごとに対策を使い分けて、DIYで内窓を作るもよし、リフォームするもよし、とのお答えがありました。参加者のみなさんも、自分で何ができるのかという観点で、話に聞き入っておられたようでした。

冬にかぎらず、楽しく、手軽に実践できるエコに暮らすヒントはたくさんあります。ぜひ、自分にあった方法を選んで、楽しく快適なエコライフを送ってください!

*Do It Yourself の略。専門業者でない人がする自作や修繕のこと。

会場のようす



(株)ニトムズの宮崎康夫さんによる講演。自分たちで簡単にできる窓まわりの断熱を実演を交えて講演していただきました。



セミナーの概要

会場：ハグミュージアム 大阪市西区千代崎3丁目南2番59
主催：大阪府地球温暖化防止活動推進センター・大阪府協
力：YKKAP株式会社、株式会社ニトムズ、大阪ガス株式会社



DIYer 久米まりさんとトークセッション。専門家の皆さんと住まいに手をかける楽しさを専門家の皆さんと語りました。

大阪府地球温暖化防止活動推進員「3R推進チーム」の取組み

大阪府地球温暖化防止活動推進員 福井 善明

■ 推進員の活動から天神祭ごみゼロへ。

3R推進チームとして教科書調査、自治体アンケートを実施するなか、2014年には環境省の助成事業として「リユースびん入り飲料『茶々』」を開発すると同時に「大阪びんリユース推進協議会」を立ち上げました。そして、その後『茶々』を通じてリユースに関する啓発活動を続けるなか、2016年にリユース関連で「祇園祭ごみゼロ大作戦」を知ることになり、同じように日本3大祭の一つ天神祭りもごみゼロにできないかと、環境団体とともに「天神祭のごみを考える会」を設立。その年の天神祭のごみの実態および組成調査を行いました。

■ 膨大な来場者、膨大なごみの量。

2016年の天神祭り来場者は2日間で約130万人。ごみの量は約60トン。組成調査では重量比で45%を飲料容器が占め、きちんと分別回収をすれば再資源化できることがわかりました。

2017年3月に正式に「天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会」を発足し、その時点から7月24日・25日の本番に向けての活動が本格化していきました。目指したのは分別回収とリユース食器の活用による、ごみ減量と市民の3Rへの啓蒙でした。

■ きれいな天神祭は推進員として大きな自信に。

天満宮、行政、ごみ回収、露店などの各関係団体と調整し、企業への

協賛、ボランティア募集と研修、エコステーション設置準備などをすすめて、2017年度は、まず南天満公園の天神橋から川崎橋までの範囲で実施。

エコステーション11か所、ボランティアのべ560人でごみゼロ大作戦を実施した結果、資源物(びん、かん、ペットボトル)の回収量が0kgから824kgになる等の成果があり、あきらかにきれいな天神祭が実現できました。祇園祭、天神祭でのごみゼロ活動を受けて、神田祭でもその動きがあるようです。今後、この流れが祭はもとより、日々の生活レベルに広がっていくことを期待しています。

推進員になって、3R推進チームに参加しなければ、たぶんこのような経験はできませんでした。ある人に言われたのですが、ある年齢になればすべきことのひとつにボランティアを加えるべきだと。今回の大作戦に参加して、あらためてその人の言葉を思い出し、これからも推進員として、自分にできることに挑戦していこうと改めて思った次第です。



▲エコステーション ▲2016年、17年の天神祭のようす。明らかにごみの量が減っています